令和2年度事業報告

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

会員

区分	部会等		R2.3.31	入会	異動入	退会	異動出	R3.3.31
	開業	A	264	5	1	7	6	257
		В	53	0	5	3	1	54
		D	73	2	3	13	1	64
		Е	3	0	0	1	0	2
	小計		393	7	9	24	8	377
	衛生・畜産	A	64	0	0	2	0	62
正会員		В	34	2	0	0	0	36
正云貝		С	5	0	0	0	0	5
	小計		103	2	0	2	0	103
	教育・研究他	A	62	3	0	4	1	60
		В	25	0	0	1	0	24
		С	12	0	0	1	0	11
	小計		99	3	0	6	1	95
	合計		595	12	9	32	9	575
賛助 会員	法人		22	1	0	0	0	23
	個人		0	0	0	0	0	0
	合計		22	1	0	0	0	23
総合計		617	13	9	32	9	598	

※ 異動:部会間の異動

新会員(令和2年4月1日から令和3年3月31日までに入会された会員)

区分	部会等		会員名(受理順、敬称略)(()は勤務地)	
正会員	開業 A		濱岡糸絵(堺市)、濱田和也(豊中市)、紀ノ岡和希(泉大津市)、 吉田祐樹(阪南市)、寺本健太郎(豊中市)、福間康洋(吹田市)	
		D	鳥生淳一朗(八尾市)、黒川樹也(東大阪市)、門脇巧(豊中市)、	
	小計		7名	
	衛生・畜産	A	田中直子(東大阪市)、篠部順子(東大阪市)、	
	小計		2名	
	教育・研究他	A	古山敬祐(泉佐野市)、日下拓哉(泉佐野市)、日根野谷淳(泉佐野市)、	
	小計		3名	
	合計		12 名	
賛助	法人		株式会社日本トリム	
会員	合計		1名	
総合計			13 名	

会議等

役員会等開催概要			
定時総会	R2.5.30	決議事項 平成31年度事業報告の件 平成31年度決算の件 報告事項 令和2年度事業計画の件 令和2年度予算の件 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則、規程等の改正について	
理事会	R2.4.24	総会の開催方法 総会にかける決議事項 平成31年度事業報告の件 平成31年度決算報告の件 総会事業報告 令和2年度事業計画書の件 令和2年度収支予算書の件 令和2年度資金調達及び設備投資の見込み 規則、規程の改正	
	R2.5.11	総会で決議する事項について 平成31年度事業報告の件 平成31年度決算報告の件 委員会規則の改正について	
	R2.6.20	動物愛護推進委員会委員の解任について	
	R2.6.29	会員専用サイトの運用について	
	R2.11.9	役員選任規定の規定に基づく選挙管理委員の承認について	
	R3.1.4	令和3年度事業計画書について 令和3年度収支予算書について 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて	

(部会、五十音順、敬称略)

理事	業務執行理事;会長(代表理事):佐伯潤(開業)、相談役:木下久則(開業)		
	副会長:北原千春(開業)、吉川信行(衛生・畜産)・澤田勉(教育・研究他)、		
	淡路俊喜(開業)・田中啓一郎(衛生・畜産、事務局)		
	理事(開業):坂口秀平、佐藤昭司、寺田芳徳、新山亮、西村厳童、		
	理事(衛生・畜産):木村滋、小泉典代、		
	理事(教育・研究他):中井正博、三宅眞実、		
監事	安田圭一郎(開業)、留河義輝(衛生・畜産)、笹井和美(教育・研究他)		

会務運営会議 業務執行理事と関係者を交え、会の実務の執行について企画検討実施しました。 業務執行理事 (R2/4/10、5/15、5/30、6/12、7/10、8/7、9/4、10/16、11/6、12/18、R3/1/8、2/19、3/12)

委員会概要(◎:委員長、3	五十音順)
広報委員会	会報発行、ホームページの編成(一般サイト、会員専用サイトを動物救護等対策委員会と獣医学術委員会と協働し改定)、各種情報の収集、発信方法の検討を行いました。(IT:ホームページ専任、○:IT 専任委員長) ◎秦敦朗、江口之朗、木下久則、木村滋、白石佳子、竹内浩成、三宅眞実、 ○大下勲、IT川手憲俊、IT中野康彦、IT森渉、(R2/7/8、11/12、)
動物愛護推進委員会	大阪動物愛護フェスティバル、大阪府飼養管理サポート事業、大阪府子猫育成サポート事業、大阪府所有者のいない猫対策支援事業や動物愛護行政施策に連携協働を行いました。(〇:大阪動物愛護フェスティバル委員長) ⑥淡路俊喜、〇西村厳童、今西修大、尾芝仁、北原千春、斉藤恵子、澤田勉、下西清夫、中井正博、新山亮、深田恒夫、安田圭一郎、山内明子、山地良彦、(R2/7/13、12/15、R3/2/20、/2/17、3/17)
学校飼育動物推進委員会	学校飼育動物の健康管理、出前授業、各種講習会を行いました。学校飼育動物の課題を年次大会拡大会議で共有化しました。 ◎寺田芳徳、江口之朗、大下勲、会亀昭夫、木村英司、樋渡清美、 光野京子、美濃部五三男、吉川信行、 (R2/7/28)
動物救護等対策委員会	災害動物医療支援チーム (大阪 VMAT) の編成、災害時避難所への支援を検討しました。災害時の情報共有化を図るためホームページの改定しました。野生鳥獣救護を行いました。(○:大阪 VMAT 隊長) ◎坂口秀平、○北原千春、大下勲、小泉典代、笹井和美、佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、武田雅人、虎谷卓哉、中津賞、冬木忠清、三宅眞実、山岸達郎、(R2/7/7、R3/2/8)
獣医学術委員会	講習会、セミナーの開催・共催・後援、獣医学術近畿地区学会参画、 顕彰等の推薦を行いました。情報の共有化のためホームページの改 定をしました。 ◎新山亮、秋吉秀保、淡路俊喜、勝川千尋、佐藤昭司、佐藤光晴、 澤田勉、相馬武久、田村浩司、 (R2/4/30、5/22、6/22、9/12、9/14、11/11、12/1、12/6、12/17、 R3/2/22、3/10、)
狂犬病予防推進対策委員会	狂犬病予防注射接種率向上のための啓発周知、集合注射の説明会開催、市町村長への集合注射参加獣医師の推薦、狂犬病予防ワクチン副反応等事例への措置対応、新型コロナ感染症対応の情報発信などを行いました。 ◎美濃部五三男、北原千春、笹井和美、虎谷卓哉、中上昭二、長内秀樹、(R3/1/15、2/19)
規律委員会	会の規律の維持向上のための方策、会員の規律に関する重要事項について理事会の諮問に応じて意見を述べます。 ◎佐伯潤、淡路俊喜、会亀昭夫、木下久則、北原千春、澤田勉、 武美範是、田中啓一郎、長濱伸也、

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

ア 市町村が実施する狂犬病予防注射(以下「集合注射」という。)が、円滑かつ効率的に実施されるよう、また飼犬登録率の向上のため連携を密にした。

大阪府下42市町村(大阪市を除く。)と集合注射実施に向けて協議した。

注射会場数 1,027 会場 (午前実施:431 会場 午後実施:596 会場)

(新型コロナ感染症対応など)

令和2年4月6日、新型コロナ緊急事態宣言が発出された場合の大阪府獣医師会として対応 方針を会員に示すとともに、次のとおり関係市町村へ要望した。

> 大 獣 発 第 4 号 令和2年4月6日

令和2年度の狂犬病予防集合注射について

公益社団法人大阪府獣医師会

会長 佐伯 潤

すでに報道などでご存じのことかと存じますが、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)対策として、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出される可能性が大きくなって参りました。

大阪府内の狂犬病予防集合注射について、緊急事態宣言が出された場合の大阪府獣医師会としての対応方針と市町村に対しましての要望事項を以下にお示しいたします。

緊急事態宣言が発せられた場合、会員保護と感染拡大防止対策として、令和2年度の狂犬病予 防集合注射は、大阪府内の全市町村で中止または延期していただくよう要望致します。

その場合、個々の診療施設での接種が増加する可能性があり、診療施設での感染機会の増大が懸念されます。

よって、犬の飼育者に対して、中止や延期の案内をおこなう際には、感染拡大防止のため、以下の対応への理解と周知をお願いいたします。

- ・狂犬病予防接種のための受診は、可能であれば5月以降としていただきたくお願いいたします。
- ・ 狂犬病予防接種のための受診に際しては、対応時間や注意事項などを動物病院に 電話にてお問い合わせ下さい。
- ・飼い主さんに発熱などの異常がある場合には、来院をご遠慮ください。
- ・来院時にはマスクの着用をお願いいたします。

上記につきまして、ご理解ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

令和2年4月7日以降、集合注射の中止延期等の対応が32市町村でなされた。

イ 予防注射の接種率の向上を図るため周知啓発するため会員動物病院、市町村担当窓口にポスターを356カ所に掲出した。また、市町村各広報42誌へ情報提供した。

ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師を集合注射等協力獣医師 として311名委嘱し、確認書に基づき府内40市町村長へ推薦した。 エ 飼い主への不安軽減とワクチンによる事故情報を迅速に共有化することで注射の安全性 向上を図るため、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。

オ 狂犬病予防ワクチンの備蓄を、本会会員病院でのローリングストック方式での7,000頭分に加えて、1,000頭分のローリングストック方式を薬業界の協力支援を得ておこなった。

カ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシー等有害事象が4件の報告があり、 丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。

キ 本会において条例で犬を飼っている旨の表示義務の門標(犬シール)を魅力あるデザインにし、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図った。

周知啓発

ホームページに掲載するとともに、市町村周知広報時に啓発文を掲載ポスター:会員動物病院(311 施設)と市町村担当窓口(42 カ所)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策と情報収集と啓発

ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪府安全基盤健康研究所と協働連携し実施した。また、SFTS のペット動物への注意喚起をホームページに登載するとともにした。

日本国内での人の狂犬病の発生にともない、会員動物病院へ情報を適宜共有し、飼い主への適切な保健衛生指導や周知啓発を促した。

高病原性鳥インフルエンザの日本での発生が 18 県 52 例 75 農場 1 施設約 987 万羽処分、野生の鳥の陽性は 18 県 58 件であったが、風評被害の発生がないように正しい情報の発信に努めた。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[医薬品・飼料等の備蓄]流通在庫備蓄方式(ローリングストック方式)

[対応会員動物病院数] 311動物病院

(3) 家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページに掲載する とともに、チラシ・掲示物で周知した。

豚熱の日本での2018年9月発生以来108農場4と畜場で23万7,807頭処分され、野生イノシシでも確認された。大阪での発生もあり、風評被害の発生がないよう正しい情報の発信に努めた。

2 動物愛護事業

(1) 大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人 大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市と共催し、環境省、公益社団法人日本動物福祉協会の 後援で、「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんな と もだち 地球の仲間」をテーマとして大阪市中央公会堂と大阪城公園太陽の広場にて開催する予 定であった。しかし、新型コロナ感染症の感染拡大防止のため事業実施内容を大幅に割愛縮小し、 長寿動物表彰のみを次のとおり実施した。

ア 長寿動物表彰式

長寿動物の飼い主へ長寿動物表彰状を送付することで、動物の愛護と適正な飼養について周知 啓発した。

[表彰基準] 大型犬:14歳以上、中型小型犬:16歳以上、猫:18歳以上

[表彰数] 大型犬:32 頭、 中型小型犬:405 頭、 猫:210 頭、 合計647 頭

[特別長寿表彰] 天王寺動物園:らくだ:28 歳、五月山動物園:ウォンバット:31 歳

イ 講演会:中止

- ウ 動物愛護精神の涵養のため、幼稚園などの幼児による絵画の展示:中止
- ◎大阪城公園太陽の広場:中止

下記内容全て中止

- ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発する。
- イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周 知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝える。
- ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理を啓発する。
- エ 無料動物医療相談を開設し、診療などへの質問、相談に応じる。

(2)動物救護等対策事業

大阪VMAT(災害動物医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team)設置し、獣医療関係者(獣医師、動物看護師、トリマーなど)で構成運営した。

大阪府、市町村の地域防災訓練に参加しペット動物の同行避難の周知啓発を実施しているが、 新型コロナ感染症感染拡大防止のため全て中止となった。

- ア 地域防災訓練等に準じて新型コロナ感染症感染拡大防止による影響調査、会員動物病院の連絡網の再確認と web による情報の共有化を実施した。
- イ 災害時避難所へのペット同行避難の周知徹底を市町村へ周知するとともに、避難所でのペット収容ケージを70台の10施設への配備を実施した。
- ウ 災害発生時に備えるため、「災害時動物救護協力病院」を設け事前登録を行った。
- エ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及事業

逸走動物を早期に飼い主のもとに戻すため、マイクロチップの周知啓発を行った。

また、大阪府飼養管理サポート事業に併せてマイクロチップの支援をした。

オ 豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リスト

大規模な家畜伝染病発生等の緊急時に行政から支援要請が想定され、このような要請に速や かに対応できるようにリストに登録協力した。

(3) 野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数:50名(内 特定救護6名)

救護等実績数:202件(内訳:鳥類194件、獣類8件)

また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」を後援し、周知啓発している。

(4) その他

◎大阪府飼養管理サポート事業に連携協働 受入動物病院:12病院、実施動物病院:6病院、サポート子猫:16頭

- ◎大阪府所有者のいない猫対策支援事業に連携協働茨木市の1地域1病院(前年度からの継続)新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止。
- ◎大阪府子猫育成サポート事業に連携協働指定動物病院:14病院、実施動物病院:8病院、対象子猫:10頭
- ◎大阪府適正飼養普及啓発事業新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止。
- ◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会淡路委員長が委員として参画。
- ○大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。
- ◎大阪府動物由来感染症対策委員会(大阪府動物由来感染症審議会を H28 年度再編)に佐伯会長が委員として参画。
- ◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に佐伯会長が委員として参画。

3 学校飼育動物事業

- (1) 大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援 教育庁市町村担当主事研修は、新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止
- (2) 各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師:181名

市町村教育委員会: 42機関

対象小学校・支援学校:745校

学校での動物飼育の発表展示

新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物奨励表彰

新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物特別講義支援

R2/11/21:大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 40名

特別講義学外講師 学校飼育動物推進委員 大下勲先生

学校飼育動物推進委員会委員、大阪府立農芸高校ふれあい動物部部員

日本獣医師会獣医学術年次大会公開型拡大会議意見交換会

新型コロナ感染症感染拡大防止のため中止

・がっこう動物新聞(壁新聞)8号、9号を配付

配付先:大阪府教育庁事務局市町村教育室小中学校課及び教育振興室支援教育課の2課、大阪府下(大阪市を除く)の各市町村教育委員会事務局:42事務局、大阪府下(大阪市を除く)の小学校:699校、支援学校:46校、本会会員の動物病院:311施設

4 学術普及事業

(1) 学会、研修、講習会の開催

- 1. R2/9/1~9/15:「絶対成功する!初めての症例発表」3回シリーズ 第1回「症例発表のための Tips~症例発表デビューしてみませんか?~」Web 開催:西田英 高先生(大阪府立大学獣医外科学准教授)
- 2. R2/12/6:「絶対成功する!初めての症例発表」3回シリーズ 第2回「症例発表練習会」Web 開催:秋吉秀保先生(大阪府立大学獣医外科学教授)、西田 英高先生(同獣医外科学准教授)、鳩谷晋吾先生(同臨床獣医学准教授)、古家優先生(同臨 床獣医学准教授)
- 3. R3/3/7:ペピイアカデミックフェスタ 2021「子猫からできる問題行動の予防〜動物病院だからできる早期介入と対応〜」Web 開催:藤井仁美先生(獣医行動診療科認定医)
- 4. R3/3/14:「絶対成功する!初めての症例発表」3回シリーズ 第3回「症例検討会」Web 開催:秋吉秀保先生(大阪府立大学獣医外科学教授)、西田英高 先生(同獣医外科学准教授)、鳩谷晋吾先生(同臨床獣医学准教授)、古家優先生(同臨床獣 医学准教授)

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

- 1. R2/9/6:名古屋市獣医師会 動物看護師 Web セミナー見逃し配信
- 2. R2/9/26:日本獣医師会 2020 どうぶつ愛護オンラインシンポジウム Web 開催

- 3. R2/10/4: 狂犬病臨床研究会 ウェブセミナーWeb 開催
- 4. R2/12/7~12/17:日本小動物歯科研究会、日本獣医腎泌尿器学会、日本獣医臨床病理学会、 大阪府立大学獣医臨床センター4 団体共催獣医臨床オンラインセミナーWeb 開催
- 5. R3/1/18~1/24:日本獣医麻酔外科学会 学術集会 Web 開催
- 6. R3/3/6:日本獣医師会・日本野生動物医学会合同企画オンラインセミナーWeb 開催
- 7. R3/3/15:日本獣医師会 令和2年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会 Web 開催

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

本会の公益事業の発展に貢献、功績のあったものに会長賞を、獣医学術の向上、研究又は獣医技術の普及にあったもの並びに将来の発展が期待できるもの及び獣医学を通じて社会に貢献したものに中村賞を授与するが、新型コロナ感染防止のため中止とした。

令和3年挙行の各卒業式で成績優秀で将来の発展が期待できるものとして会長表彰状授与者(敬 称略)

相川 諒 大阪府立大学獣医学科(R3/3/24)

玉村 菜穂 大阪 ECO 動物海洋専門学校(R3/3/9)

吉岡 鈴夏 大阪ペピイ動物看護専門学校(R3/3/25)

(4) その他

学術情報等を登載した会報を発行した。発行部数:800部

配布先:会員、近畿地区連合獣医師会構成獣医師会、関係行政機関、動物関係団体、薬業関係大阪府立大学における獣医学教育・研究の充実・改革に向けたさらなる教員増を支援し、さらに獣医学部および獣医学研究科の設置が実現するよう、また国際水準の教育体制が確立されるよう、近畿地区連合獣医師大会へ提案し日本獣医師会を通じて内閣府へ要望した。

農林水産省の「養殖場における魚病診断等に協力できる獣医師」リストに協力し、魚病に関する研修などの周知を行った。

その他の事業

- 1獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。
- (1) 社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。(受信順、敬称略)

開業部会	藤島誠(父)
衛生・畜産部会	佐藤巧(母)、河井昭男(父)

(2) 獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式を頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じず寄附に及ばなかった。

事業報告書の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。